

## はじめに

|       |   |
|-------|---|
| メタデータ | 言語: jpn<br>出版者:<br>公開日: 2022-06-28<br>キーワード (Ja):<br>キーワード (En):<br>作成者: 三戸, 望<br>メールアドレス:<br>所属: |
| URL   | <a href="http://hdl.handle.net/2297/00066563">http://hdl.handle.net/2297/00066563</a>             |

This work is licensed under a Creative Commons Attribution-NonCommercial-ShareAlike 3.0 International License.



# 研 究 紀 要

第 6 4 号

Society5.0 を主体的に生きるための資質・能力の育成（2 年次）  
—新設教科「創造デザイン科」の提言と  
STEAM 教育を踏まえた教科等横断的プロジェクトの作成を目指して—

令和 4 年

金沢大学附属中学校

# はじめに

金沢大学附属中学校  
校長 三戸 望

本校では今年度より4年間、文部科学省の研究開発学校の指定を受け、「個々の持つ強みを協働させて『新たな価値を創造する資質・能力』を育成する新設教科「創造デザイン科」の在り方に関する研究開発一〇個別最適化学習とSTEAM教育を柱として一」に、取り組むことといたしました。

そこで、まず今年度の研究主題を「Society5.0を主体的に生きるための資質・能力の育成（2年次）一新設教科「創造デザイン科」の提言とSTEAM教育を踏まえた教科等横断的プロジェクトの作成を目指して一」として、令和3年11月23日に第69回教育研究発表会をオンラインで行いました。当日は全国から教育に携わる約450名の方に参加していただき、様々なご意見をいただきました。それらのご意見を参考にして各教科で研究をまとめたのが、この紀要となります。

ところでこの個別最適化学習については、様々な意見があるようです。先日行われました文部科学省のカリキュラム・マネジメント開発研修で、千葉大学の天笠茂名誉教授は「個別最適な学習」について

- （1）学習者の特性や学習進度、学習到達度に応じ、指導方法・教材や学習時間などの柔軟な提供や設定をする
- （2）自らの学習状況を把握し、学習の進め方について工夫し、調整しながら粘り強く取り組むものである
- （3）興味・関心に応じ、課題の設定、子供自身による情報の収集、整理、分析、まとめ、表現を行うなど、主体的に学習を最適にするものである

と語られています。

私たちもおよそこのような方向性で「個別最適化学習」を進めているつもりですが、果たして主体的な学習となっているかと問われると、いささか疑問が残ります。このように本校の研究には様々な点で、まだまだ改善の余地があると思います。本紀要を読まれて、本校の研究に対する忌憚のないご意見を賜ることができれば幸いに存じます。

最後になりましたが、本校の研究に懇切丁寧なご指導・ご助言をいただきました文部科学省教科調査官の齋藤博伸先生、STEAM教育家中島さち子先生に、厚く御礼申し上げます。

令和4年 2月